

第6章 情報共有訓練（西口現地本部訓練）

6.1 情報共有訓練（西口現地本部訓練）の目的

西口現地本部における情報共有訓練は、現地本部を中心に都内外の他の駅周辺協議会とも連携して、新宿駅周辺地域やより広域な被災状況等を共有することで、新宿駅周辺地域の混乱を防止し、駅周辺事業者の災害対応に役立てることを目的として実施された。

6.2 情報共有訓練（西口現地本部訓練）の概要

情報共有訓練（西口現地本部訓練）では、震災発生により工学院大学新宿キャンパス 1 階アトリウムに西口現地本部を設置し、地域の災害情報を集約・伝達し対応する訓練、および新宿区役所・新宿区防災センター・千代田区間等との FWA 無線による通信訓練を行った。表 6-1 に訓練の流れ、図 6-1 に訓練参加機関、図 6-2 に訓練の組織編成、図 6-3 に各拠点間の情報通信環境を示す。西口現地本部における訓練は、周辺事業所に勤める 8 名が参加して行われた。

訓練における想定は以下の通りである。

- ・訓練当日の 13 時に、東京湾北部地震（M7.3）が発生。
- ・地震発生後、各高層ビルでは自衛消防組織による自助対応を開始。
- ・新宿区は災害対策本部の設置を本庁舎にて進めるが、本庁舎が被災したことから、新宿区防災センター（市ヶ谷）へ本部機能を移転。
- ・交通機関の麻痺により新宿駅周辺には大量の滞留者が発生。また、駅周辺ではビル火災の発生も確認でき、ビル内では多数の傷病者も発生。
- ・地震発生後、新宿駅周辺防災対策協議会は駅周辺の混乱防止と災害対応に動き始め、新宿駅西口は 14 時頃に西口現地本部を立ち上げる。
- ・地震発生から数時間が経過し、新宿駅の周辺部の密集市街地では大規模な市街地火災が発生。火災延焼地区から避難する人々が青梅街道沿いに新宿駅方面へ大移動を開始。
- ・都内のターミナル駅周辺でも協議会組織が混乱防止などのために活動を開始。また、名古屋駅地区街づくり協議会は、首都圏の状況把握と連絡サポートを開始。

本訓練では、全体ミーティング、西口現地本部へ参集、ブリーフィングの後、駅周辺協議会間および新宿区・千代田区災対本部との連携訓練として、FWA、MCA 無線、衛星通信、各種情報ツール（図 6-4）を活用し、各拠点の活動状況の把握、各駅周辺の被災状況の共有、青梅街道から新宿駅に向かう避難者流入情報の共有、千代田区方面への誘導経路・誘導場所等の情報共有、新宿区・千代田区内の災害拠点病院の受入状況の確認、千代田区方面へ誘導する避難者の傷病者等に対する支援体制の確認、さらに名古屋の協議会からの後方支援（情報の整理・提供）を行った。また、高層ビル防災センター・医療救護所・新宿区災対本部との連携訓練では、高層ビルの被災状況の共有、高層ビルの構造安全確認のための建築専門家のコーディネート、優先的に確認が必要な高層ビルへの専門家派遣、および医療救護所の支援、高層ビルの安全情報の共有を行った。写真 6-1～6-8 に主な訓練状況を示す。

表 6-1 情報共有訓練（西口現地本部訓練）の流れ

時間	情報共有訓練（西口現地本部訓練）
13:00	参加者集合
13:00～13:45	訓練内容の確認
13:45	訓練開始（発災6時間後）
13:45～16:00	・駅周辺協議会間および新宿区・千代田区災対本部との連携 （FWA、MCA 無線、衛星通信、各種情報ツールの活用） ・高層ビル防災センター・医療救護所・新宿区災対本部と連携
16:00	終了、講評会場へ移動
16:15～17:00	訓練の講評・アンケート記入
17:00	訓練終了・解散

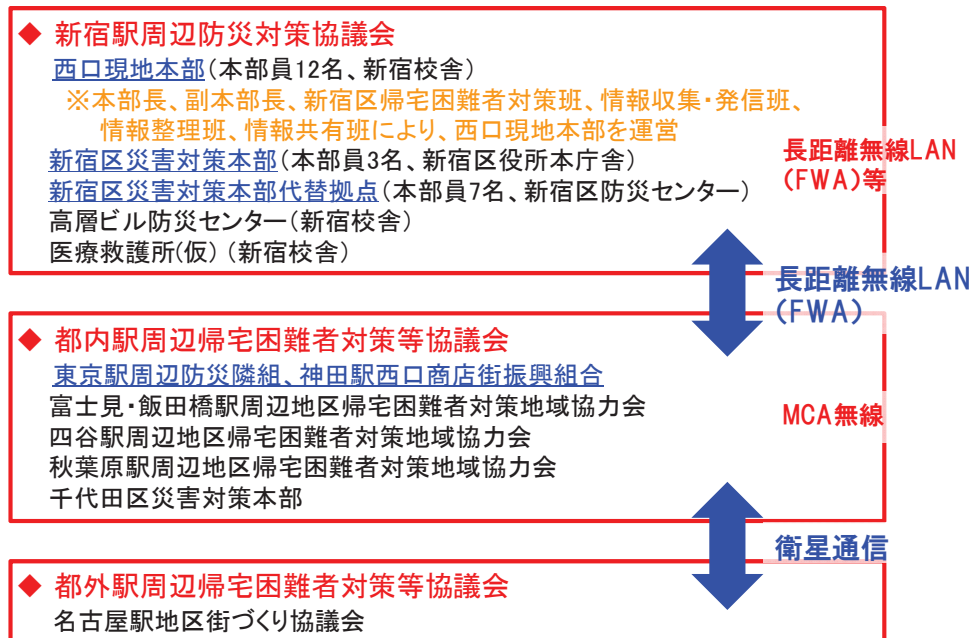


図 6-1 情報共有訓練（西口現地本部訓練）の参加機関

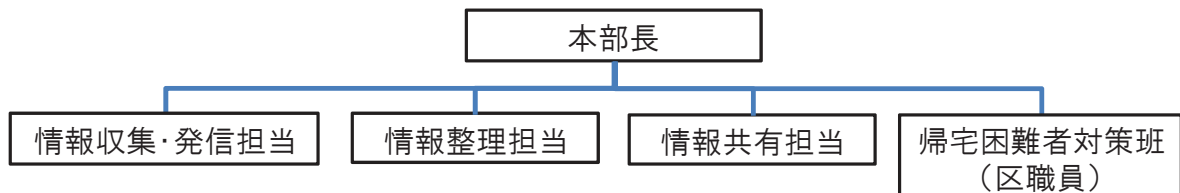
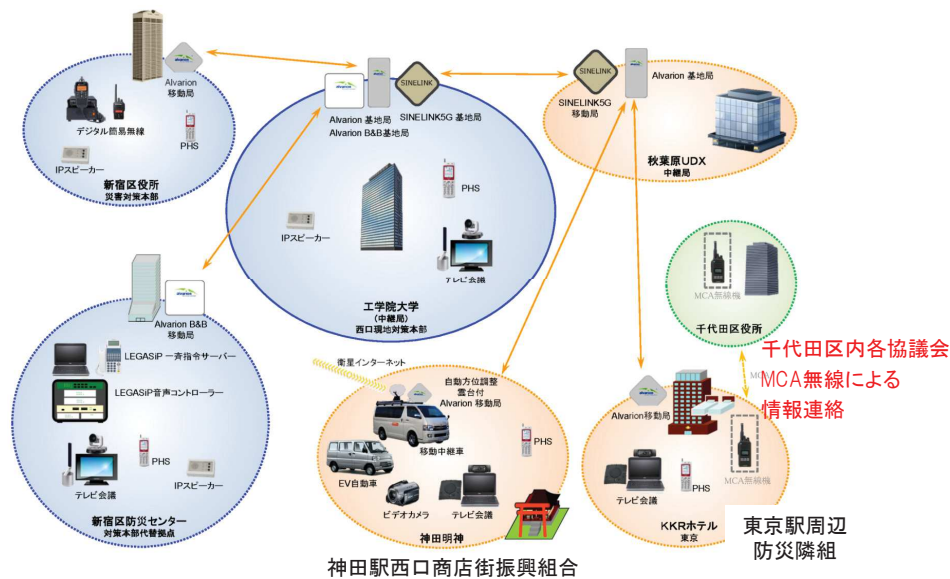


図 6-2 西口現地本部の組織編成



リアルタイム広域情報共有システム(サーバは新宿校舎)による情報共有も実施

図 6-3 各拠点間の情報通信環境



新宿駅西口の高層ビルの安全確認情報
(赤色:危険、青色:安全、黄色:確認中)

新宿駅西口の高層ビルの
被害概要等



東京駅防災隣組から提供された、
千代田区内の医療機関情報、被害情報等

図 6-4 リアルタイム広域情報共有システムの活用



写真 6-1 西口現地本部の訓練の様子(1)



写真 6-2 西口現地本部の訓練の様子(2)



写真 6-3 西口現地本部の訓練の様子(3)



写真 6-4 西口現地本部の訓練の様子(4)



写真 6-5 東京駅周辺防災隣組の訓練の様子



写真 6-6 新宿区防災センターの訓練の様子



写真 6-7 神田駅西口商店街振興組合の訓練の様子(1)



写真 6-8 神田駅西口商店街振興組合の訓練の様子(2)

6.3 参加者アンケート調査結果

訓練参加者の満足度や達成度等の評価および今後の課題やテーマ等を抽出することを目的とし、訓練当日の講評会においてアンケート調査を行った。回答方法は、選択肢方式および記述方式を併用し、選択肢については各問に対する肯定表現と否定表現に中間表現および中立表現を加えた5択方式とした。

事業所の防災担当者など、災害対応従事者4名を含む8名の訓練参加者全員より回答が得られた。アンケート調査結果の概要を以下に示す。また、選択肢方式の回答を図6-5に示す。

- ・「参加して良かった」が6名、「どちらかという良かった」が2名。「円滑な実施がどちらかというとできた」が3名。「今後改善すべき点がどちらかというあった」が4名。
- ・主な改善点：情報伝達方法（1名）、より多くの情報に対する運用（1名）、地域事業者への周知（1名）
- ・その他意見：「想定は分かりやすかったが、実際そのとおりに行動することは難しかった」、「役割をちゃんと自分自身が理解できていない」、など

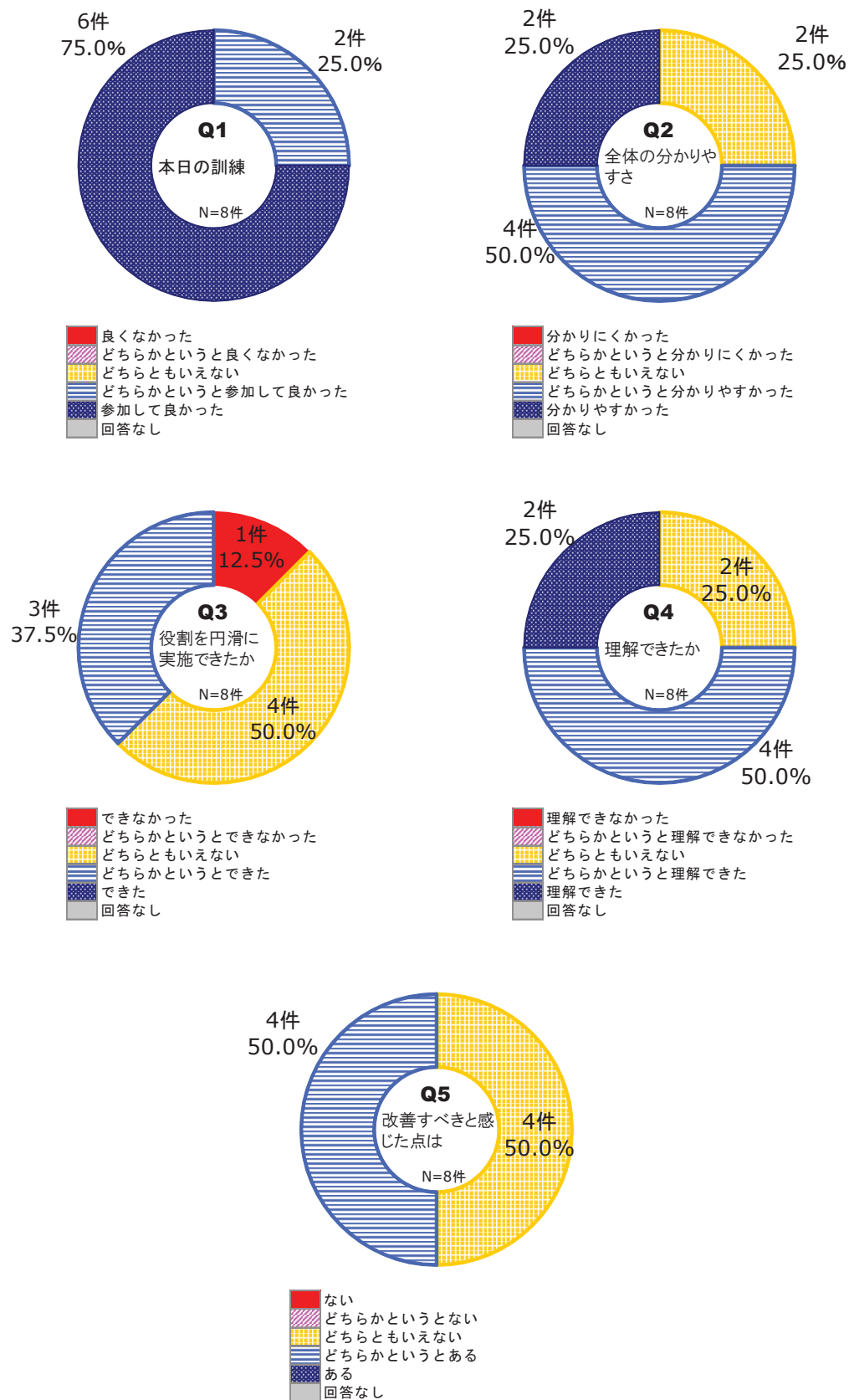


図 6-5 情報共有訓練（西口現地本部訓練）参加者アンケート調査結果